

事業者からの意見・提案一覧

平成30年8月31日

独立行政法人日本学生支援機構

【意見招請番号3】奨学金業務に係るマイナンバー提出書作成・封入・封緘業務

項番	カテゴリ	意見・提案	回答
1	仕様書等について	定形外の封入封緘業務でしたので入札参加を見合わせました。定形内の封入封緘は全て機械で封入いたしますが、定形外の封入封緘は弊社では手封入になります。	これまで、資料のサイズにあわせた窓付き封筒を使用していましたが、窓の大きさ・位置を工夫することにより、角2サイズの封筒を使用することについて検討します。
2	仕様書等について	スケジュールについて、データ提供日から納品日までの期間が短すぎます。（特に平成30年6月は、6月4日にデータが支給され、6月6日に約6,700通を納品することになっております。）	データ提供日は、本機構奨学金の貸与・返還等における機械処理日程に基づき、毎月、最速で提供可能な日を設定しておりますが、奨学生の採用処理の関係から機械処理日をこれ以上前倒しすることは困難です。 また、「マイナンバー提出書」は奨学生採用時に他の帳票類と一緒に学校から学生等に交付するものであり、他の帳票類と一緒に一括して学校に送付しています。そのため、本業務の納品日は学校への発送スケジュールに合わせる必要があります。 以上のことから、本業務のデータ提供日から納品日までの長期化を図るスケジュールの変更は非常に困難であるため、現行仕様書どおりとします。 なお、平成31年度の実施においては、委託件数の減少を見込んでおります。
3	仕様書等について	今回、対象者の情報を印字して連番が見えるような設定にされるようだが、連番を崩さずに処理するに当たり「紙詰まり」が出た場合は新たに印字して差し込むことになるのか、対処方法がわかりにくい。また、封筒の窓は何処に開くのか不明である。下だとしたら、チェックの作業性がとても悪くなり、間違いのリスクが高まる。連番が封筒窓から確実に見えるよう、窓位置は封筒の上部が望ましい。	「紙詰まり」が発生した際は、「マイナンバー提出書」の再作成を行い、本機構が提供するデータの順番を崩さずに差し込んでいただきます。また、封入用封筒の窓位置は上部に設けており、この窓から見える位置に、受託者が確認用に設定する連番を印刷することが可能です。 ご指摘を踏まえ、上記事項を仕様書に記載いたします。